

令和元年は 情報発信力 強化元年

伝わらなければ意味がない

●市長

皆さんこんにちは。市長の前田晋太郎です。今日はお忙しいところありがとうございます。

私は、日ごろから、政治や行政サービスをどうすれば市民の皆さんに分かりやすく伝えることができるかを考えています。

これはとても重要なことで、みんなに素晴らしい政策を行っても、皆さんが知らなければ、その価値を失うこともあるからです。せっかくのサービスも知って、使ってもらわないと、意味がないという

つながる感覚が楽しい

●村田

梅光学院大学4年の村田直樹です。山陽小野田市在住で、小学校の教員を目指しています。

SNSに関しては、インスタグラムをよく使います。私の場合は、ファッションが好きなので着画(自分で服を着用している画像)を投稿したり、カフェが好きなので市内のカフェ巡りをして、投稿したりしています。友達以外の人も見られていく感覚が楽しいですね。

●澤本

東亜大学3年の澤本拓海です。

私は高知県出身で、坂本龍馬と関わりのあるまち、ということでも下関には昔から興味がありました。SNSはツイッターとインスタを使ってます。下関に来て初めて角島を見た時は本当に感動しました。すぐにインスタに投稿したの

インスタで知るまちの様子

●城山

下関短期大学2年の城山真依

ですが、地元高知の友達の反響はすごかったですね。実際に私の投稿を見て、下関に来てくれた友達もいて、SNSの発信力ってすごいなと思いました。

前田晋太郎 市長

東亜大学
澤本拓海 さん

下関短期大学
城山真依 さん



若い世代と力を合わせ 時代にあつた情報発信

近年、インターネットやスマートフォン の充実とともに

ソーシャルネットワークサービス(SNS)の

社会的な影響力が大きくなっています

今回の座談会では、SNSを活用した情報発信について

SNS世代である市内の大学生・短大生と

発信力強化に努める前田市長が意見交換を行いました

す。私は下関市の出身で、小さいころから保育士になりたくて高校は下関短期大学付属の保育コースに通っていました。

SNSはインスタ、ツイッターを主に使います。大学祭の実行委員長をしているので、SNSを活用して情報発信をしています。

私は旅行が好きでよく出掛けるのですが、事前に旅行先のことをインスタで調べます。地元の方や観光で行った方がたくさん写真や動画を投稿していますので、生の声が聞こえるというか、リアルなまちの様子が分かる気がします。

●市長
グーグルではなく、インスタで検索するんですね。ちょっと意外でしたが、まさにSNSの時代と

いう感じがします。

皆さんが発信した情報、写真を見て、旅行客が訪れる。そしてそれが地域の活性化につながっていくわけですから、すごい可能性を感じますね。

●加藤
水産大学校3年、食品科学科の加藤舞です。愛知県出身で、下関には大学進学を機に来ました。

SNSはインスタ、ツイッターを使っています。ツイッターは近況をつぶやく程度ですが、インスタでは、小さい頃から魚が好きなので、海響館や他の水族館で魚の写真撮って投稿したり、魚釣りをしてその写真を投稿したりしてハッシュタグ「#下関」を付けて

投稿しているの、面識のない市内の飲食店の方とか、釣りが好きな方から「いいね」してもらったり、フォローされたりして、ハッシュタグでつながっていくんだなあ、って感じてます。

SNSを使い分ける

●吉澤
下関市立大学2年、吉澤真穂です。大分県出身です。

私はフェイスブック、ツイッター、インスタを使っています。ツイッターやインスタは同年代の友達同士、グループ内でフォローしあって使っていますが、フェイスブックは社会人の方、企業の方とつながるために使っています。投稿する内容も違いますし、目的

梅光学院大学
村田直樹さん

水産大学校
加藤 舞さん

下関市立大学
吉澤真穂さん



によって使い分けていますね。社会人の方から見られるということもあって、フェイスブックを使うときは、どうしても少し気合が入るといふか、気を引き締めて臨む感じですよ(笑)

●市長
確かに私もフェイスブックを使うときは、少し気を使っていますね。インスタは写真が前に出て、文章

は付属する程度ですがフェイスブックは文章が前に出るので、丁寧にしっかりと伝えたいときには向いていると思います。その分、見えてくれる方も文章をしっかりと読まれるので、誤読されないように表現にも注意しています。インスタは写真を気軽に投稿し、フェイスブックは丁寧に文章を書く。そんな使い分けが大切なのかもしれませんね。



水産大学校 3年生
加藤 舞 さん

大学の町おこしサークル、吉見ガールズコレクション(YGC)に所属。主にツイッターとインスタグラムを利用。サークル活動の情報発信をSNSで行っている。水族館を巡り、魚の写真をインスタに投稿。



梅光学院大学 4年生
村田直樹 さん

インスタグラムを主に使用。ハッシュタグで検索し、県内・市内のカフェを巡り投稿。また、ファッション好きで、「着画」や、時計などの小物の「置き画」なども投稿している。夢は小学校教諭。



下関市立大学 2年生
吉澤真穂 さん

大分県出身。フェイスブック、ツイッター、インスタグラムを使用。高校生の時、使わなくなった体育館シューズをタイの貧困地域の子どもたちに送る運動に参加。SNSで寄付を呼び掛ける活動を経験。

行政だけではなく みんなが発信することで 下関が盛り上がる

SNSの時代ならではの新しい情報発信の姿

言葉をもっと軟らかく

●村田
今回、この座談会に参加させていただくことになったのを機に、市の公式SNSを拝見したのですが、インスタがいいなあと思います

した。美しい写真がたくさん投稿されていて、写真を見て行ってみたいくなりました。インスタ映えるカフェの写真などもあればもっといいなと思います。

●澤本
市のインスタは確かにいいと思うんですが、ちよつと文章が硬いと思いました。読む気がしないというか、すぐスクロールをしてみよう(笑)。

●市長
それは大切な話ですね。SNSに限らず、普段から私も硬い言葉で説明しても伝わらない。分かりやすい言葉を使って説明しよう」と市役所の中でも言っていて、

●城山
私も、文章はもっと緩い感じにした方がいいと思いました。特にSNSでは、絵文字を使うだけでも、ずいぶん印象が変わるんじゃないでしょうか。もっと砕けた感じがいいと思います。

●市長
そこは行政のすごく難しいところで、硬いと若い人たちは読んでもらえないかもしれないけど、緩くし過ぎると「もっとまじめにやりなさい」とご批判をいただくこともあるんです。

●加藤
例えば、ゆるキャラがつぶやく、という形にしたらどうでしょうか。下関のゆるキャラ専用のアカウントをつくって、ゆるキャラがつぶやくのであれば少々使う言葉が軟らかくてもいい気がします。

●澤本
方言を生かしたような、独自のしゃべり方で、つぶやくと面白いと思います。

●市長
それはいい案ですね。実は今年度、下関を象徴するような、中心



下関市公式 Instagram

https://www.instagram.com/city_shimonoseki_official/

下関市公式 Facebook

<https://www.facebook.com/shimonoseki.koho/>



下関市公式 Twitter

<https://twitter.com/CityShimonoseki>



東亜大学 3年生
澤本拓海 さん

高知県出身。柔道部。ツイッターとインスタグラムを利用。高校生の頃、文化祭の情報拡散に協力。柔道部のつながりで、他の高校にも知り合いが多く、SNSの拡散力を体感した。



下関短期大学 2年生
城山真依 さん

同短期大学の大学祭実行委員長を務める。ツイッター、インスタグラムを利用。SNSを活用し、大学祭情報を発信。最近のマイブームは、深坂の森に行き、野生のシカを見つけること。



下関市長
前田晋太郎

自他共に認めるフェイスブックのヘビーユーザー。フェイスブックの友達登録数は、最大数の5000人に到達。自ら旗手となり、下関市の発信力強化に取り組む。

●加藤
私は大学のサークルで同じようなフォトコンテストを主催者側と

●城山
確かに、賞品があるといいですね。ただ、そうなるのと一眼レフなどの高級なカメラを持っている人がばかりが賞を取るものになりそうな気がします。だから、スマートフォン部門とか学生部門とかで分けてもらえたら、学生も参加しやすいです。参加者が多ければ多いほど、盛り上がる気がします。

●吉澤
市の公式インスタも、一般の方が投稿した写真をチョイスして公開しているいいなと思ってるんですが、一般の方に投稿してもらえばあると面白いと思います。先日、日本遺産「関門」ノスタルジック「海峡」のインスタで、写真のコンテストをやっていて、優勝賞品が高級カメラでした。私の友人も参加していて、すごく盛り上がっていた印象があります。

●市長
非常に面白い。これはやってみたいですね。いろんな人が参加できる、インターネットならではのイベント、企画ができると思いがると思います。

●市長
非常に面白い。これはやってみたいですね。いろんな人が参加できる、インターネットならではのイベント、企画ができると思いがると思います。

●市長
市内の民間企業にお願いして、みんなで作っていくと面白そうですね。

●市長
特定ハッシュタグを付けて市の情報を発信している人に、何かしらの特典を付ける、ということになれば、みんながどんどん発信するかもしれませんね。

●市長
最近、飲食店などで、お店のインスタをフォローしてくれたらドリンクをサービスする、といった特典を付けているのをよく見かけます。そういうことを行政がやってみても面白いと思います。

●市長
非常に面白い。これはやってみたいですね。いろんな人が参加できる、インターネットならではのイベント、企画ができると思いがると思います。

●市長
非常に面白い。これはやってみたいですね。いろんな人が参加できる、インターネットならではのイベント、企画ができると思いがると思います。



図広報戦略課 (☎231-2951)

●市長
今日は若い世代ならではの素晴らしい意見をたくさん出していただきました。有意義な意見交換ができたと思います。SNSは仕組みも使い方もどんどん進化していくので、私ももっと勉強して、さらに発信力を強めていきたいと思いました。

●市長
行政だけが発信するのではなく、SNSの特性を生かして皆さんに協力してもらいながら、一緒に下関の情報を発信していくことが大切だと感じました。一緒に下関を盛り上げていきたいと思えます。

●市長
本日はご参加ありがとうございました。